

2月11日(土)～3月31日(金)

「秩父祭」ユネスコ無形文化遺産登録記念

秩父を舞台にした青春アニメ「あの花」とのコラボ

「真冬のちちぶ de スタンプラリー2017

～花火がどっかーん!～」を開催!

秩父アニメツーリズム実行委員会
秩 父 市
横 瀬 町
秩 父 商 工 会 議 所
西 武 鉄 道 株 式 会 社
秩 父 鉄 道 株 式 会 社

秩父アニメツーリズム実行委員会(事務局:埼玉県秩父市、会長:久喜 邦康)、秩父市(市役所:埼玉県秩父市、市長:久喜 邦康)、横瀬町(埼玉県秩父郡横瀬町、町長:富田 能成)、秩父商工会議所(事務局:埼玉県秩父市、会頭:西村 耕一)、西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:若林 久)、秩父鉄道株式会社(本社:埼玉県熊谷市、社長:大谷 隆男)では、昨年12月1日(木)に日本全国の祭事33件が「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、2月11日(土)から3月31日(金)まで、秩父を舞台にした青春アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」(以下「あの花」とコラボし、聖地巡礼を楽しめる街なか回遊イベント、「秩父祭」ユネスコ無形文化遺産登録記念イベント「真冬のちちぶ de スタンプラリー2017 ～花火がどっかーん!～」を開催します。

「あの花」の舞台となった秩父市内をめぐり、「あの花」キャラクターのスタンプを集めながら街なかの聖地巡礼を楽しんでいただきます。スタンプ6つのうち5つ以上のスタンプを集めると、ゴール地点で期間毎に異なるデザインの「あの花」オリジナル缶バッチをプレゼントします。さらに、ゴール地点でアンケートに答えると、ユネスコ無形文化遺産登録記念「あの花」クリアファイルもプレゼントします。

また、秩父市に隣接する秩父郡横瀬町大字芦ヶ久保では、山の斜面を利用して、地域の方々が沢の水を撒いて人工的につくりあげた「あしがくぼの氷柱」が2月26日(日)までご覧いただけます。

詳細は、別紙のとおりです。

©ANO HANA PROJECT



「あの花」オリジナル缶バッチ デザイン

※イメージ

※配布期間(左:めんま 2/11～2/28、中央:あなる 3/1～3/17、右:つるこ 3/18～3/31)

【別紙】

「秩父祭」ユネスコ無形文化遺産登録記念イベント

「真冬のちちぶ de スタンプラリー2017 ～花火がどっかーん！～」開催について

1. 実施期間 2月11日(土)～3月31日(金) 10時～17時(予定)
2. 実施内容 スタンプ設置個所でラリーシートを受け取り、「あの花」の聖地を巡りながら、街なかのスタンプ6ヶ所のうち5ヶ所以上のスタンプを集めます。ゴール場所で期間毎に異なるデザインの「あの花」オリジナル缶バッジをプレゼント(おひとりさま1個)します。
「あの花」オリジナル缶バッジ 配布期間
① めんま 缶バッジ 2月11日(土)～2月28日(火)
② あなる 缶バッジ 3月1日(水)～3月17日(金)
③ つるこ 缶バッジ 3月18日(土)～3月31日(金)
※オリジナル缶バッジは各デザイン先着1,000個。なくなり次第配布終了。
3. 参加費 無料(公共交通機関等をご利用の際は各自でご負担ください)
4. スタンプ設置箇所 秩父観光情報館・道の駅ちちぶ・ほっとすぽっと秩父館・秩父地場産センター・玉木家・武甲酒造の6ヶ所
5. ゴール 秩父観光情報館・道の駅ちちぶ・ほっとすぽっと秩父館の3ヶ所
6. その他 スタンプラリーのゴールでは、アンケートにお答えのお客さまには、更にユネスコ無形文化遺産登録記念「あの花」クリアファイル(A5)を先着3,000名さまにプレゼント(おひとりさま1枚)します。※なくなり次第配布終了。



「あの花」クリアファイル(左:表、右:裏)

7. お問い合わせ先 秩父アニメツーリズム実行委員会(事務局:秩父市役所観光課)
TEL. (0494) 25-5209 FAX. (0494) 27-2627
時間:8時30分～17時15分(土・日・祭日を除く)

〈参考〉

アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」

2011年4月～6月までフジテレビ“ノイタミナ”にて全11話が放送された秩父を舞台設定のモデルにしたアニメで、実在する風景や建物がたびたび登場する。

2013年8月31日には劇場版が全国で公開され大ヒットとなった。

昔は仲良しだった幼馴染の6人は、今では関わり合うこともなく、それぞれの生活を送っていたが、主人公じんたんの前にめんまが現れたことをきっかけに、再び集まり、思春期特有の複雑な感情がぶつかり合う青春ストーリーが描かれている。6人の登場人物のキャラクターから発せられる言葉や行動は見た人の心に深く訴えかけるものがある。

※公式Webサイト <http://www.anohana.jp/>



「秩父夜祭」について

秩父市の師走名物、秩父神社の例大祭「秩父夜祭」は、京都祇園祭、飛騨高山祭と共に日本三大曳山祭の1つに数えられ、毎年12月2・3日に行われます。江戸時代の寛文年間（1661～72）には祭りが存在していたという記録があり、300年余りの歴史があります。

江戸時代には祭りとともに秩父絹の市が立ち、秩父の経済を大いに潤したといわれ、お蚕（かいこ）祭りとも呼ばれます。時は移り、秩父に住まう人々の1年の総決算としての変わりはありません。

勇壮な屋台囃子を打ち鳴らし、まちなかを曳き回されるのが笠鉦2基と屋台4基の山車（国重要有形民俗文化財）です。

屋台両袖に舞台を特設しての地芝居（秩父歌舞伎）や地元の花柳一門と杵屋一門によるひき踊りは、秩父神社神楽とともに「秩父祭りの屋台行事と神楽」として国指定重要無形民俗文化財となっています。



秩父夜祭の勇壮な笠鉦・屋台と冬の夜空に煌く花火

「あしがくぼの氷柱」について

1. 開催期間 2月26日（日）まで開催 ※天候により閉鎖する場合があります。
2. 開催時間 <通常観賞時間> 9:00～16:00
<ライトアップ> 毎週 金・土休日 日没～20:00
3. 交通 西武秩父線 芦ヶ久保駅 下車徒歩10分
4. 入場料 環境整備協力金として200円
おもてなしレディによる甘酒または横瀬産紅茶を1杯無料配付します。
(無料配付は16時まで)



ライトアップされた「あしがくぼの氷柱」 ※イメージ

以上